

▼4月13日（水）は、上田先生による「アフリカ」をテーマとした「学びあい」の提案授業を見て、全教職員で学びました。

共有と 再検証



▼上田先生の授業では、子どもたちが課題に対して積極的に追究し合い、なかまとの関わりを通じて、自分の考えを深める姿が見られました。その背景にある上田先生が話していたキーワード「共有と再検証」について深めたいと思います。

▼課題について、グループでなかまの力を借りながら、個人の考えを深めていきます。その際、意図的に生徒を指名し、全体共有を行います。共有して終わりではなく、改めてグループでの活動に戻し、考えた自分の意見が、正しいのか、修正が必要なのかを検証していきます。

▼今回の授業では、上田先生は、数名の生徒を意図的に指名し、全体で共有する機会を設けました。その後、聴いた話を通して、改めて自分の考えを検討する時間（再検証）を多く取っていたように思います。

▼これによって、自分が班での交流を通じて、考えたことが本当に正しかったかどうか、改めて検証し、考えを吟味し、学びを深めることができると思います。

▼全体共有だけで終わるのではなく、グループで聴いたことをもとに考えを再検証する時間をとることの意義を感じさせられました。

▼上田先生、貴重な提案ありがとうございました。

